

【令和3年度 政策・調整会議】

件名：登戸土地区画整理事業の事業完了に向けた事業計画変更について

日時：令和4年1月19日（水）10：35～10：43

場所：第3庁舎18階 大会議室

●付議理由

土地区画整理事業の完了に向けて、社会情勢の変化及び更なる魅力の創出等に伴う総事業費の見直しや、登戸駅前の街区の統合等を踏まえた土地利用計画及び小田急小田原線複々線化計画の動向を踏まえた区画道路等の変更など、事業計画の変更を行い、土地区画整理事業を契機とした魅力あるまちづくりを推進するため。

●付議概要

（1）総事業費の見直し

補償基準単価・労務単価上昇等の社会情勢の変化や今後の見通し、地域による賑わいあるまちづくりと連携した基盤整備の拡充等を踏まえ、総事業費を増額する。

なお、事業施行期間は変更せず、着実な事業推進を図り、令和7年度までに建築物等の移転及び道路等の都市基盤整備の完了を目指す。

【総事業費】約935.8億円 ⇒ 約993.8億円（約58億円増）

（2）土地利用計画や道路計画などの見直し

①登戸駅前の更なる魅力の創出に向けた街区の統合

登戸駅前においては、区画道路の廃止による街区の統合を行い、魅力ある多様な都市機能が集積した駅前空間の創出に取り組み、まちづくりビジョンに位置付けた「賑わいの核」の形成に向けた取組を推進する。

②小田急小田原線複々線化計画の動向を踏まえた区画道路等の変更

本事業は、小田急小田原線複々線化を前提とした計画となっている。当初計画では、複々線化に伴い線路を嵩上げし、その下を通り抜ける道路を整備する予定であったが、令和7年度までに複々線化が実現する可能性は極めて低いため、当該区画道路を廃止する。

なお、登戸1号踏切の廃止は当初計画通り実施し、暫定の代替歩行者動線の確保を検討する。

【土地利用計画】街区の統合を行い、魅力ある多様な都市機能が集積した駅前空間の創出に取り組む。

【道路計画】街区の統合などを踏まえて区画道路の一部を廃止する。

●主な意見

・引き続き、事業費の精査と経済的な方法の検討を進めるとともに、令和7年度に移転等を完

了させるため、進行管理をより一層適切に進め、着実に事業を推進すること。

- ・登戸駅や向ヶ丘遊園駅周辺、生田緑地等を含めた一帯のまちづくりと連携して取組を推進すること。
- ・清算手続について、令和8年度以降の早期に完了させるために、前倒し可能な取組に早急に着手し、効率的・効果的に取組を進めること。

●**結論**

案のとおり了承。